

問 防災マニュアル  
ハザードマップの見直しは

答 早急に作り上げたい



創政会 高山 政信

問

9号台風による水害は市内各地に大きな被害をもたらしたが、幸い人命に影響はなかった。判断を誤まれば大変な事態になっていたと思われるが、初動体制はどうであったか。防災マニュアル通り動けたか、反省すべき点、危険箇所が多数発生をしたがハザードマップ、防災マニュアルの見直しはされま

市長

情報把握に時間を要した点など反省すべき点があった。今後迅速で正確な情報の手段と市民への伝達方法の確立が求められる。今回の災害を詳しく検証する中で災害に即応できる防災マニュアル等を早急に作り上げます。

問

早期に道路網が通行可能となった。土木業者の献身的な協力なしでは早期回復は望めなかったと思うが、

市長

風水害、地震等災害時においての対策も考え合わせ可能な限り地元業者の雇用と育成、支援を考えるべきと思うが、どのようにお考えですか。

市長

災害時に  
おいても協



一宮町楽里

力は不可欠と認識しており、全域を対象にした全業者と応急業務に対する災害協定を締結すべく協議を行っております。

問

16年度台風の風倒木の未処理、間伐材等が橋脚に詰まってオーバーフローしたケースが随所であった。今後間伐材等の処理方法を考えるべきと思いますが。

市長

市としても林内処理または搬出も考え積極的にかつ迅速に対応してまいります。

問

山腹に流木、土石が堆積している。雨が降るたびに住民は怯えています。二次災害も予想されるが対策を伺います。

市長

災害発生後直ちに被害調査を実施しており、必要性の高いところから順次治山事業を実施していただくよう県に要望し、計画的に取り組んでいきます。

問

水路の欠損、田畑の流失、土石の流入、畦の崩落また農機具が水に浸かり使用不可能

等、農家も大被害が発生している。農業離れの一因ともなる。早急な対策を講ずべきと思いますが。

市長

国の災害復旧事業をはじめとし、市単独土砂改良事業補助金制度を創設し、農業関係の復旧と一日も早い被災地の復旧に取り組んでまいります。

問

民主連合政権となったが、補正予算の見直しも聞き及ぶが景気対策、公共事業等、宍粟市21年度予算に影響はないのかなど検証はされたのか。

市長

国の動向を留意しつつ、予算計上した事業について肅粛と事業推進に努めます。

問

千種高校は中高一貫教育に改編され明るい兆しがありますが、存続が危惧されています。どのような対応をお考えか。

教育長

これまで以上に支援してまいります。